

●甲板作業の安全教育

全ての作業前には必ずミーティングを行い手順及び危険箇所等の周知を行い作業の安全が徹底されています。



船体洗い作業前のミーティング

植松一等航海士（安全担当者）から実習生及び乗組員へ作業前には内容・方法等、徹底した安全指導が行われます。もちろん作業5分前には全員、作業甲板に集合しています。

●航路実習



大阪湾 友ヶ島水道 通過

一等航海士からECDISと海図そして目で確認しながら通峡実習が展開されます。

●船内学習

午前08:30～  
午後13:30～



漁業科・機関科又学年別に学習内容が違い、1年生は主に多目的実習の内容に関することが三等航海士、二等機関士から課題を与えられて学習します。2年生は多目的実習の課題を自分で見つけ学習し、その他に国家試験対策を各自のペースで取り組んでいます。

指示されなくても生徒室に集まり勉強している姿は「海技士」となって日本の水産、海運の担い手が着実に育っていることを感じています。

【平成30年度 多目的実習寄港地研修】

▲長崎

平和公園

三菱重工造船所・出島商館跡

軍艦島デジタルミュージアム、グラバー園



A君 研修感想

原爆資料館では1945年8月9日11時2分原爆によって止まった柱時計や原爆被害時の写真など多くの原爆の爪痕を見ることができました。核兵器は各国に核兵器があると言われていいますが、世界から核兵器がなくなり長崎、広島のような悲劇が繰り返されない事を心から祈ります。

▲那覇

首里城（世界遺産）

沖縄ワールド・ひめゆりの塔



B君 研修感想

首里城はかつて海外貿易の拠点であった那覇港を見下ろす丘陵地にあったグスクと言われる城跡だったそうです。中国の影響を大きく受けていて門や各種の建築物は漆で朱塗りされ、屋根瓦には高麗瓦が使われ、色々なところに国王の象徴である龍が使われていました。首里城周辺には世界遺産に登録された文化財が数多くありました。